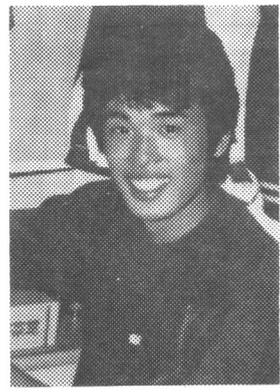




発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(256)1981
03(256)8394
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(582)8541



肝っ玉 かあさん

筑波大学4年
坂本克己

私の父は、小さな漁船に乗っていましたが、昭和四十五年二月に外国船と衝突し、帰らぬ人となってしまいました。それから、母が、一家の大黒柱として、祖母と当時、八歳だった私、五歳の妹、三歳の弟の四人をささえなければならなくなり、途方に暮れた時も多々あったと思います。

私が幼かった頃の母は、とにかく、

がない分、母は、両者の役をこなさなければならなかったわけで、よけいなきびしく、私に接したのではないかと思えます。

私が母に対してもっているイメージは、とにかく、「強い人」ということです。「肝っ玉母さん」という言葉がありますが、まさにそれを地で行く人だと思えます。母は、弱音を吐きません、人前で涙を見せません、本当に強い人だと思えます。この強さのおかげで、私は大学にまでいかせてもらったし、兄妹三人、父親がいなかったという中で、変に卑屈になったり、ぐれたりせずここまでこれたと思います。

逆にいえば、これまでは、この母の強さに甘えて、自分自身は何一つ母にしてやれなかったように思います。

私はこの春から教師として、社会人となりますが、母の強さを手本として自分も強くありたいと思えますし、これから母には、「肝っ玉母さん」で

昭和六十一年度事業の概要

進級、進学おめでとうございます。
奨学生皆さんには、希望にあふれて新学期を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

一、学資給与事業について
(ア) 事業の改善点 この事業のうち中学校在学奨学生に対する学資給与金を、前年度の月額六千円に一千円増額します。四月から月額七千円となります。現在、このために所定の手続をしております。

(イ) 本年度の事業は、(ア)の中学生給与金の増額のほかは前年どおりです。したがって、幼稚園・保育園(所)に在園する者及び小学校に在学する

者に対する学資給与金は、月額五千円です。

入学祝金も前年度どおりで、小学校入学者には一人三万円、中学校入学者は一万円が贈呈されます。

二、奨学金貸与事業について
この事業は、前年度高校入学者から月額貸与金を五千円増額しましたので、本年度は一学年と二学年の者は、一万五千円で、三学年以上在学者は従来どおり一万円の二種になります。入学一時金は、前年どおり、一〇万円です。

三、願書の受け付け、奨学金等の送金予定日は、次のとおりです。

願書の締切	送金予定日
第一回 五月十五日	六月五日
第二回 七月三十一日	九月五日
第三回 十月三十一日	十二月五日
第四回 一月三十一日	三月五日

第一回願書 受付締切

昭和61年5月15日

二度の不運にあつて

佐々木 イネ子

昭和五十二年四月七日、鹿島沖にて遭難し、主人は、帰らぬ人となってしまいました。家族は、今年高校受験の長女、中学生になる長男、そして父、母、私の五人家族です。

父も、主人が遭難にあうまでは、元気で船に乗っていたのです。突然の死だったので、あれいらい、すっかり体が弱ってしまいました。

それから三年目に、隣りの家から火が出て火事になり、家が焼けてしま

り続けてほしいと心から願っていました。

「お母さん、ここでまんじゅう屋をやるの、絶対売れないよ、この店の造りでは」と、子供二人が口を揃えて言うのです。「うーんそれで頭を痛めていいの、お前達も、この店をどのように改造したらいいか力を貸してよ」と、親子で話をしたのが半年前のことでした。男の子二人にアドバイスを受けながら、餃子屋さんから「やきまんじゅう屋」に変身したのはそれから一ヶ月もかかりませんでした。

突然の悲報、人ごとのように思っていた事が我身にふりかかり、早十年の月日が流れようとしています。この間は親戚の手伝いをしながら、高二、中二とまで成長した二人の子供と頑張ってきたが、五ヶ月前四坪弱の小さな店「やきまんじゅう屋」を開店する運びとなりました。

商売の話があつてから開店まで一ヶ月でしたが、本場上州へ行って下見を

しました。二度の不運に会い、家族皆、ショックでまいってしまいました。でもそのうちに、皆にはげまされて少しずつ元気になってまいりました。

それから二年後、父の病氣も悪くなり、始めのうちは、血圧が高いくらいだったのですが、そのうちに腎臓も悪くなり、何年かして腎臓の働きがなくなり、人工透析をやる様になりました。人工透析を始めたのが五十七年の七月からです。

透析は、一生死ぬまで続けなければならぬのです。

本人も辛いでしようけれど、私達家族全員協力し合つて行かなければなりません。始めのうちは週二回、二年位

ぎると体がまいってしまいました。だから、今年七月で、透析を始めてまる五年になります。そのたびに、母が付添つて行きます。朝七時三十分に行つて一日がかりです。

食物はすべてうす味で、量もきめられて、水分もあまりとれません。一日の体重、体温、尿、便、すべて生活日誌に書いて、病院に持って行きます。病院では、生活日誌を見ていろいろと指導をしてくれます。

透析をしている人は、汗、尿はほとんど出ません。だから機械で透析をしながら、体の中の毒素をひきます。その人の基本体重があつて、透析から透析の間に、体重が増えた分だけ、基本体重になるまでひかれるから、食べすぎると体がまいってしまいます。だから、

今年七月で、透析を始めてまる五年になります。そのたびに、母が付添つて行きます。朝七時三十分に行つて一日がかりです。

食物はすべてうす味で、量もきめられて、水分もあまりとれません。一日の体重、体温、尿、便、すべて生活日誌に書いて、病院に持って行きます。病院では、生活日誌を見ていろいろと指導をしてくれます。

透析をしている人は、汗、尿はほとんど出ません。だから機械で透析をしながら、体の中の毒素をひきます。その人の基本体重があつて、透析から透析の間に、体重が増えた分だけ、基本体重になるまでひかれるから、食べすぎると体がまいってしまいます。だから、

まんじゅう屋 の船出

山田 啓子

「お母さん、ここでまんじゅう屋をやるの、絶対売れないよ、この店の造りでは」と、子供二人が口を揃えて言うのです。「うーんそれで頭を痛めていいの、お前達も、この店をどのように改造したらいいか力を貸してよ」と、親子で話をしたのが半年前のことでした。男の子二人にアドバイスを受けながら、餃子屋さんから「やきまんじゅう屋」に変身したのはそれから一ヶ月もかかりませんでした。

突然の悲報、人ごとのように思っていた事が我身にふりかかり、早十年の月日が流れようとしています。この間は親戚の手伝いをしながら、高二、中二とまで成長した二人の子供と頑張ってきたが、五ヶ月前四坪弱の小さな店「やきまんじゅう屋」を開店する運びとなりました。

商売の話があつてから開店まで一ヶ月でしたが、本場上州へ行って下見を

しました。二度の不運に会い、家族皆、ショックでまいってしまいました。でもそのうちに、皆にはげまされて少しずつ元気になってまいりました。

それから二年後、父の病氣も悪くなり、始めのうちは、血圧が高いくらいだったのですが、そのうちに腎臓も悪くなり、何年かして腎臓の働きがなくなり、人工透析をやる様になりました。人工透析を始めたのが五十七年の七月からです。

透析は、一生死ぬまで続けなければならぬのです。

本人も辛いでしようけれど、私達家族全員協力し合つて行かなければなりません。始めのうちは週二回、二年位

ぎると体がまいってしまいました。だから、今年七月で、透析を始めてまる五年になります。そのたびに、母が付添つて行きます。朝七時三十分に行つて一日がかりです。

食物はすべてうす味で、量もきめられて、水分もあまりとれません。一日の体重、体温、尿、便、すべて生活日誌に書いて、病院に持って行きます。病院では、生活日誌を見ていろいろと指導をしてくれます。

透析をしている人は、汗、尿はほとんど出ません。だから機械で透析をしながら、体の中の毒素をひきます。その人の基本体重があつて、透析から透析の間に、体重が増えた分だけ、基本体重になるまでひかれるから、食べすぎると体がまいってしまいます。だから、

公 告

昭和六十年度事業のうち、幼稚園・小学校、中学校に在学する奨学生を対象に実施した学資給与事業に対し、財団法人日本船舶振興会から九四〇万円の補助金が交付されました。ここに公告し、衷心より感謝申し上げます。

また、この補助金は、本年度も引き続き交付され、育英事業の推進上大きな力となります。このことを併せ公告し、同振興会に厚くお礼申し上げます。

昭和六十一年四月

財団法人 漁船海難遺児育英会
理事長 鈴木 善 幸

〒971 福島県いわき市小名浜(大原)
字堀米四十四―二

〒971 福島県いわき市小名浜(古)
港一四六

苦勞を語る

母親座談会



第二回漁船海難遺児の母親座談会を、去る二月五日に福島県いわき市において開催しました。出席いただいたお母さんは、小名浜漁協管内五名、江名漁協管内から三名でした。皆さん御多忙のなかを本当に有難うございました。この座談会のため、福島県漁連には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

また、次の方々の御出席をいただきました。福島県漁連松本専務理事、高木指導部長、小名浜漁協大高専務理事、渡辺指導係長、江名漁協酒井総務課長です。育英会からは、前田専務理事、手島業務部長、本田博美が出席しました。座談会は、手島の司会で進め、貴重なお話を盛りだくさんうかがいましたが、スペースの都合で残念ですがここにはその要点のみを掲載していることを申し添えます。

司会 まず、自己紹介を順番に。
小野 おとしまで小名浜にいました。現在、湯本に住んでいます。子供が、事故当時七人で一番小さい子が十月で、今は末子も高二となり、に育つてくれ、子供らに支えられながら上の子供らは社会人となっております。保険の外交員をやっています。

佐藤 私のところは、子供が五人です。一番上の娘は二〇歳になり就職していますが、現在、次女と三女が給与をいただいております。お蔭さまで、みんな元気でいます。

坂本 子供は、三人です。長男は筑波大学四年、今年卒業ですがお蔭様で福島県の高専学校教員試験にパスしました。長女は大学をめざして目下勉強中です。次男（奨学金貸与生）も、一応大学進学を希望していますが、どうなるかわかりません。ただ、九十二歳の寝たきりの老人のことが心配です。

三人ですから、もし悪い方に走ったら大変だと、そればかり頭にあって夢中できませんでした。これからも、今のまま素直に育ってほしいと思っています。

司会 それでは、この座談会の第一の柱、子供の養育上の諸問題のうち、学校教育費の負担状況から入りたいと思います。

熊谷 きまってるって行くお金は、月五万円ぐらいですが、ほかにいろいろな入用が多いですね。
佐藤 小学校六年生では、旅行積立が二・五千円加わりますので、大雑把に二・五万円ぐらいは納めているのではないのでしょうか。



山田啓子さん

山田 中学生は、学年によって違い三年生が一番かかります。給食費や諸会費は毎月きめられています。教材費はその月によって違い多い月で四・五千円ですね。したがって中学一・二年では、きまった諸会費のほかに月五

熊谷 学校経費はかかりますが、子供たちは小さい時から大学へも行きたいといつて、無駄使いたくないようにしています。



小野マツエさん

小野 一番下の子が水産高校に在学していますが、今年の五月に乗船実習があるのですが、新聞配達をやってお金をためていこうと。小名浜にいた時は、朝刊配達をやっていました。今は、通学の都合で夕刊をやっています。兄弟が多いが、だれも漁船に乗らないので、俺が乗るといって頑張っています。

佐藤 うちでは塾に行っていないですね。
佐々木 まわりの子はみんな行っています。うちは現在、そろばん塾、学習塾へ通っていますが、そろばん塾は、週四回で月四千元、学習塾は火水木で月八千元です。教科は、国語、数学、社会、理科の四科目です。

司会 いまの学校教育費は、ずいぶんかかりますね。中学生に対する入学祝金が、六十年から贈呈されるようになり、入学時、中学入学時には、どのくらい諸経費がかかりますか。
山田 男・女で違いますが、中学校指定の制服、くつ、かばん、サブバック等を買うと全部で五万円はかかると思っています。女子の場合は、七・八万円ぐらいになるのではないのでしょうか。

佐々木 本人には進学したい高校があるようですが、交通費がかかるので地元高校にするよう話し合っております。下の子は、まだ小さいので余り考えておりません。

木幡 長男大学、次男専門学校、三男高校と三人がこの春いっせいに卒業ですが、長男は大学院（土木・建築）へ進みたいと思っています。私は、公務員になってほしいと思っていますが、親の思うようにゆきません。大学は月謝が免除されているので、食費、参考書の購入費等は、日本育英会と福島県報徳会から借りています。二番目は卒業しても就職先がなく、自分でアニメ関係の仕事をやるといっています。これでは、二人とも家を出るので、一人ぐらい家についてほしいと思っています。ところが、三男が地元で就職がきまり、ひと安心です。

三宮 今年高校を卒業する長男は、地元就職がきまりました。長女と次女はすでに就職していますが、三女はあと一年学校があります。

坂本 長男は、教職の道を進むことになりました。長女は医療技術を身につけたいと、月謝があまりかからない国立の短大をめざしています。次男も一応進学を考えていますので、まだまだ大変です。

司会 子供さんの進学目標と将来望んでおられる職業等についておきかせください。
熊谷 長男は、大学進学を希望しておりますので、育英会で大学まで奨学金を貸してもらえたらいいなあと話し合っております。



佐藤ヨシエさん

司会 大学進学者への奨学金貸与は、育英会の今後の努力目標にはありますが、現在は高校までです。
山田 上の子は、高校の建築科ですが今はブームが去って就職も大変なようです。本人は進学を考えているようですが、専門学校の学費がかかります。

司会 話題をくらしに問題に移したいと思えます。まず、お母さん方の現在のお仕事からおうかがいます。
熊谷 住友生命で、まわりの人々に支えられ勤めています。ここで、厚生年金の被保険者になっていたので、将来のことを考え少しでも長く勤めたいと願っています。

山田 魚屋さんに十年ぐらいいました。が、やっぱりオーナーにならないと駄目ですね。そこで、去年の十月十二日に焼まんじゅうの店を開店しました。生活の方は、遺族年金でなんとか賄うようにし、目下、開店資金の借金を返済するよう努めています。

佐々木 私は、祖父の健康が悪いので、パートぐらいしかできません。現在、祖父の週三回の透析通院には、祖母（六九歳）が付添って行きますが、いつ入院するかわかりません。ですから自分の都合で、いつでも休めるパートで働いております。

司会 パートの業種は多くありますか。
大高専務 水産加工、浜関係などの仕事はありますが、賃金が時給で四〇〇円ぐらいですか。

山田 ただ、心配なことは年齢制限があつて、働きたいと思っても働けなくなっています。四十歳以上になるとパートでもむずかしくなっているのではないですか。
木幡 山田さんは十月に開店したということですが、私は十月に仕事をやめました。十年間ぐらいスーパーで働

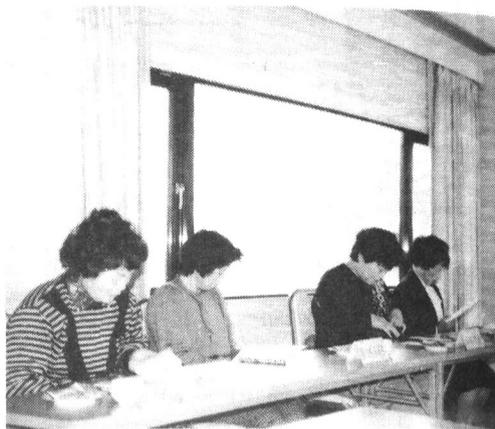


佐々木イネ子さん

佐藤 長男は、内郷開発センター（職業訓練所）を卒業、就職しました。次男も今センターに在学中です。ここは月謝はかかりませんが、交通費が月一万九千円ぐらいかかります。次男・三女は、まだ考えていません。

お母さん

《第2回》



薬の副作用が出てきて、大腿骨がくさってくるんです。このため、仕事をやめました。お蔭様で現在は歩けるようになりましたが――。



木幡伸子さん

三宮 私は、小さな商売を始めて十五年になります。子供は小さいし、祖父が身障者ですから、外へ勤めに出ることができない。とすれば小あきないぐらいしかありません。

司会 自営を始めるための資金は――。

三宮 資金として遺族年金の一時金が欲しかったのですが、これは年金でいただくことにし、祖父から少し出してもらいました。

坂本 九十二歳の祖母が寝たきりです



坂本久子さん

から(十年になる)パートに出たくても出られません。

佐藤 私は、サンマの仕分の仕事を時間給でやっていますが、腰痛があったり、月二十日ぐらいしか働きません。小野 私も入っていません。大分前の

ことですが、役所へ行きまして遺族年金をもらっているから駄目だといわれました。木幡 二十年ぐらい前は、入っても入らなくてもよいという話でした。私は嫁にくる前に入っており、そのまま加入していましたが、そして働いている時は厚生年金でしたが、その後は国民年金に切りかえています。山田 厚生年金と国民年金とが継続できることをしらなかったもので、会社をやめた時点で解約してしまいました。



熊谷晴子さん

熊谷 遺族年金や母子年金は、子供が満十八歳になると打ち切られます。これは痛いですが、せめて、その子供が高校を卒業するまで給付してほしいです。司会 義務加入である保険には、加入する必要がある。これが御自身の老後の問題につながってきます。では、老後の見通しについてうかがいます。

熊谷 自分の老後より現時点では、子供のことでいっぱいなんです。ただ、遺族年金と私の厚生年金が給付されれば、老後もなんとかやっていけそうです。

佐々木 今は、まだ考えていません。木幡 子供が一人近くにいると、こればよいと思っています。

三宮 親子が一緒にくらすことが、一番だと思えます。子供は、めんどろをみてくれるといておられます。夫の年金が支えとなると思えます。

坂本 私も、長男が同居してくれるよーだし、夫が遺してくれた年金でなん



三宮久代さん

とくらしして行くしかありません。佐藤 まだ、子供がこれからですから自分のことを考えるひまがありません。山田 私は、商売を始めたばかりですが、元気で働ける間は働きます。司会 小野さんは、知りあいの多い小名浜へもどって、くらされますか。小野 今は、兄の家で家賃もかかりますが、小名浜ではそうはいきません。うまくいきませぬ。

司会 皆さん長時間にわたり、御熱心な座談会を難うございました。皆さんの御健康をお祈り申し上げます。最後に漁業に殉じられた御主人はじめ多くの方々の御冥福を祈って、一分間の黙禱を捧げて終りにいたします。

『募金・御寄付』のお礼

『会員申し込み・奨学資金の御寄付』のお礼

昭和六十一年一月から三月までの間に御寄付・募金を賜った方々の御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。なお、十二月に御寄付を賜りました一般寄付の方々につきましては、その一部を今回掲載させていただきました。

※御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い一般寄付金を含む)

(一月) 宮城県▽県漁連専務亀山太助他十八件(長崎県)▽加藤光雄・受章祝(富山県)▽第三サンエイ丸藤田清吉他一件(山口県)▽広島県▽県栽培漁業センター他十八件(兵庫県)▽天野寿美子他一件(兵庫県)▽静岡県▽五戸漁業部代表五戸幸雄他九件(青森県)▽能都町漁協婦人部(石川県)▽松田隆敏・香典返(島根県)▽山口県▽県漁連専務林一成・御母堂香典返(兵庫県)▽鹿兒島まぐろ同友会他九

都目黒区)▽日本栽培漁業協会専務理事本間昭郎▽山岸剛(秋田県秋田市) (二月) 平山清(鳥取県米子市)▽稲見芳勝(東京都日野市)▽愛知県漁連専務理事吉田秋年▽本間有一(東京都世田谷区) (三月) 横島誠(東京都港区)▽京都府漁連会長理事倉武二・同専務理事高井幸左衛門▽板野進(大阪府枚方市)

都道府県別奨学生数

(昭和61年3月末現在)

県名	学資給与奨学生				奨学金貸与奨学生	合計	60年度第4回新規採用者				
	幼児	小学生	中学生	小計			幼児	小学生	中学生	高校生	計
北海道	12	90	96(4)	198(4)	29	227(4)	1	4	5	—	10
青森	15	59	57(3)	131(3)	33	164(3)	—	3	—	—	3
岩手	10	63	58(1)	131(1)	30	161(1)	—	2	—	—	2
宮城	6	63	77(3)	146(3)	24	170(3)	—	—	1	—	1
秋田	2	12	6	20	3	23	—	—	—	—	—
山形	1	10	12	23	5	28	—	1	1	—	2
福島	5	19	17	41	11	52	—	—	—	—	—
茨城	—	4	5	9	4	13	—	—	—	—	—
栃木	—	1	1	2	—	2	—	—	—	—	—
千葉	2	7	17	26	5	31	—	—	—	—	—
東京都	1	1	1	3	—	3	—	—	—	—	—
神奈川県	1	2	2	5	4	9	—	—	—	—	—
新潟	—	7	7	14	2	16	—	1	—	—	1
富山	—	3	5	8	7	15	—	—	—	—	—
石川	3	21	25	49	5	54	—	—	—	—	—
福井	—	2	4	6	3	9	—	1	—	—	1
静岡	—	8	7	15	2	17	—	—	—	—	—
愛知県	1	8	10(1)	19(1)	3	22(1)	—	—	—	—	—
三重	1	8	15	24	6	30	—	—	—	—	—
京都	—	5	5	10	—	10	—	1	2	—	3
大阪	—	3	3	6	1	7	—	—	—	—	—
兵庫県	2	11	13(2)	26(2)	3	29(2)	—	—	—	—	—
和歌山	—	1	9	10	6	16	—	—	—	—	—
鳥取	3	9	10	22	9	31	—	—	—	—	—
島根	1	22	10	33	4	37	—	—	—	—	—
岡山	2	3	6	11	2	13	—	—	—	—	—
広島	2	6	3	11	—	11	—	—	—	—	—
山口	5	30	24(1)	59(1)	29	88(1)	—	3	1(1)	—	4(1)
香川県	1	5	5	11	8	19	—	—	—	—	—
徳島	1	10	2	13	5	18	—	—	—	1	1
愛媛	3	11	6	20	4	24	—	—	—	—	—
高知	2	11	10(1)	23(1)	6	29(1)	—	—	—	—	—
福岡	3	25	13	41	3	44	—	—	—	—	—
福岡県有明海	—	2	3	5	1	6	—	—	—	—	—
佐賀県玄海	—	2	5	7	3	10	—	—	—	—	—
佐賀県有明海	1	3	3	7	2	9	—	—	—	—	—
長崎	7	46	50	103	21	124	1	5	1	—	7
大分	2	14	12	28	—	28	—	—	—	—	—
熊本	—	7	6(1)	13(1)	2	15(1)	—	—	—	—	—
宮崎	5	13	10	28	5	33	—	—	—	—	—
鹿児島	2	19	9	30	13	43	—	2	1	—	3
沖縄	2	9	7	18	10	28	—	—	—	—	—
合計	104	655	646(7)	1,405(7)	313	1,718(7)	2	23	12(1)	1	38(1)

(注) 学資給与奨学生の()内は特殊児で外数である。

件(鹿兒島県)▽高知県▽武良くに・御主人香典返(鳥取県)▽松井利津子(鳥根県)▽能生町漁協婦人部他三十

件(新潟県)▽雲津ユキ子・御主人香典返、木野本きみ子(北海道)▽東

京都▽白井栄市・香典返(香川県)▽東

岸漁場整備開発協会事務局長堀仁

香典返(大分県)▽徳島県▽山下博

司他九件(長崎県)▽箱浦漁協組合長

百々政市・香典返(香川県)▽土井吉

五郎・土井重治・土井久男(山口県)

▽神戸海上保安部(兵庫県)▽いわき市

平第五小学校JRC委員会(福島県)

▽八戸東ロータリークラブ・八戸漁連

經由(青森県)▽猿払村漁協組合長太

田金一・快気祝(北海道)▽全国漁連

のり事業推進協議会(全漁連經由)▽

県漁連専務理事遠田幸定・御母堂香典

返(秋田県)▽富永潤・御母堂香典返

(山口県)▽沖繩県▽島根県▽高岸徹

香典返(富山県)▽川端一広他四件

(長崎県)▽全漁連特別嘱託中野三郎

退職記念▽下関ふく連盟(山口県)

▽金平丸船主青山善太郎・香典返(島

根県)▽青森県

(三月)▽鹿兒島県▽吉中克吉・御

母堂香典返(島根県)▽河村正助(山

口県)▽芳賀秀吾(宮城県)▽井上一

馬(山口県)▽小木漁協前組合長南理

一(石川県)▽愛媛県▽神奈川県▽岩

船港漁協婦人部他八件(新潟県)▽熊

本県▽岩手県▽宮崎県▽熊本県▽宮城

県▽山形県▽熊本県▽鹿兒島県▽八戸

機船底曳網漁協専務鳥谷昭二(八戸

漁連經由)▽関東東北漁連(全漁連経

由)▽島根県▽芳賀陽一(岩手県)▽

愛知県▽広島県▽全漁連指導部▽北海

道▽和歌山県▽大分県▽静岡県▽千葉

県▽兵庫県▽岩手県▽京都府▽石川県

一、一般寄付

(十二月)▽漁船保険中央会副会長

山内静夫(御尊父香典返)▽長澤勲(東

京都江東区)▽増山みち子(北九州市)

▽幡谷純一(東京都世田谷区)▽日本

鯉鱒漁船保険組合▽日本栽培漁業協

会西日本支部▽宮崎水産高校職員親交

会▽横浜冷凍株式会社▽山西水産▽農水産

業協同組合貯蓄金保険機構一同▽日本

産水産資源開発センター一同▽募金箱

本栽培漁業協会厚岸事業場▽五戸徹(兵

一)▽山本高司(京都市)▽中

丹和子(愛媛県新居浜市)▽阪井光平

前明(千葉県白井町)▽匿名▽岡野絹

・峰松栄(東京都台東区)▽池田正二

(北九州市)▽熊本県▽大海水産(熊

本)

▽石井堯慧(千葉県八日市場市)▽小

豆嶋勇(岩手県大槌町)▽中野信一(名

古屋市)▽鈴木良三(千葉県船橋市)

▽壁矢恵津子(千葉市)▽徳水(株)役職

員一同▽東京水産大学教職員有志一同

▽大阪府東部水産物卸協同組合一同▽

野原芳枝(東京都八王子市)▽漁船保

險中央会▽日本水産(株)女川工場一同▽

名古屋鮮魚小売協同組合▽長澤勲(東

京都江東区)▽島崎久(千葉県松戸市)

▽大阪府立身体障害者福祉センター医

局▽広島県商業協同組合▽広島魚商

協同組合一同▽柴谷郁子(兵庫県西宮

市)▽(株)東京設計研究所▽上田都美(東

京都荒川区)▽岡千代(東京都豊島区)

▽岡充夫(新潟県上越市)▽佐伯禎明

(東京都世田谷区)▽東北区水産研究

所有志一同▽中央漁業信用基金▽山岸

幸江(仙台市)▽日本ボイスカウト

平戸第一団(平戸海上保安署經由)▽

浜康晴(大阪府吹田市)▽全国蒲鉾水

産加工業協同組合▽関口まさい(水産

庁漁港部前計画課長関口雅臣氏香典返)

▽岡本次子(東京都世田谷区)▽横手

喜代勝(岩手県種市町)▽横須賀三浦

地区同盟▽中村ヤマ(東京都練馬区)

▽水産庁東光丸▽神戸地区海員青年サ

ークル▽中山筆子(神奈川県藤沢市)

▽新潟県両津高校漁業科職員・生徒一

同▽野崎寛光(伊豆長岡町)▽武富邦

彦(佐賀県江北町)▽北海道大学水産

学部職員一同▽石川県水産高校職員一

同▽丸紅(株)佐藤みと(東京都品川区)

▽宮沢早織(千葉県白井町)▽尾崎忠

士(浦和市)▽アラスカゼネラルレ

ード社▽匿名(福岡市)▽笠井一之(三

重県龜山市)▽長谷川洋三(全日海函

館支部經由)▽山本高司(京都市)▽

TEC映像アカデミー▽上北水会▽

全国海苔貝類漁協連合会

(二月)▽室井円祐(東京都練馬区)

▽埼玉仲卸協同組合(大宮市)▽野中

千代乃(横浜市)▽指幸子(東京都板

橋区)▽鈴木良三(千葉県船橋市)▽

国底曳網漁業連合会

以上。